



2021年2月12日

各 位

会 社 名 株式会社トリドールホールディングス
(コード番号 3397 東証第一部)

代 表 者 名 代表取締役社長 栗田 貴也

問 合 せ 先 執行役員 経営戦略本部長 蔦本 真章

電 話 番 号 03-4221-8900

業績予想の修正および配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2020年5月25日に公表いたしました2021年3月期の通期連結業績予想および配当予想を修正いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2021年3月期 連結業績予想の修正 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(1) 修正の内容

(百万円)

	売上収益	事業利益	営業利益	税引前利益	当期利益
前回予想 (A)	148,200	5,000	200	△1,400	△800
今回予想 (B)	134,600	△3,800	△8,300	△10,100	△7,000
増減額 (B - A)	△13,600	△8,800	△8,500	△8,700	△6,200
増減率 (%)	△9.2%	-	-	-	-
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	156,478	8,881	4,367	2,837	1,941

	親会社の所有者に 帰属する当期利益	1株当たり当期利益
前回予想 (A)	△700	△12円23銭
今回予想 (B)	△7,050	△85円84銭
増減額 (B - A)	△6,350	
増減率 (%)	-	
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	1,956	21円21銭

(2) 修正の理由

2020年5月25日に通期連結業績予想を公表した時点においては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が不透明な状況下でありました。その後、テイクアウトの本格導入などの施策により業績は回復し、それが続くものと認識しておりましたが、新型コロナウイルス感染

症の第2波、第3波の影響等により、2021年1月に日本政府による緊急事態宣言および自治体からの営業時間短縮要請が発出されたこと等に加え、海外の各国においても同様にコロナ禍の影響を受けました。その状況を考慮し、「売上収益」を修正いたします。

また、上記に伴う「事業利益」の減少が見込まれること等により、「営業利益」、「税引前利益」、「当期利益」、「親会社の所有者に帰属する当期利益」につきましても、修正をいたします。

なお、このような状況下ではありますが、残りの第4四半期会計期間（2021年1月1日～3月31日）においては、不採算店舗の退店をはじめ、継続的に固定費削減策や原価、水道光熱費のコントロール強化策を実施するなど、引き続き通期赤字幅の縮小に向け取り組んでまいります。

※上記の予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 配当予想の修正

(1) 修正の内容

	年間配当金				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (A)	-	0.00	-	6.25	6.25
今回予想 (B)	-	0.00	-	未定	未定
当期実績	-	0.00	-		
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	-	0.00	-	12.50	12.50

※当社は、2020年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2020年3月期については、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。2021年3月期(前回予想)については、株式分割後の数値を記載しております。

(2) 修正の理由

当社グループは、株主の皆様に応じた利益還元を行うことは、企業目的の重要な課題であると考えており、グループの成長のために必要な投資を行うため内部留保の充実を図りながら、業績に応じて安定した配当を継続していくことを基本方針としております。

しかしながら、上記に記載のとおり、「売上収益」の減少等に伴い「親会社の所有者に帰属する当期利益」が大幅に減少する見通しとなったため、配当予想を「6円25銭」から「未定」へ修正することといたしました。

以 上